

第7章

環境保全啓発活動

第7章 環境保全・啓発活動

—持続可能な社会を目指して—

高度な経済成長と共に私たちのライフスタイルが変わり、便利さや物質の豊かさなど優先した結果から大量生産・大量消費・大量廃棄といった状況が生じています。これは地球温暖化や生物多様性といった地球的規模の問題に繋がります。

自分たちの生活を見直すことが、地球的規模の問題解決に役立ちます。自家用車の使用・冷暖房の温度設定・待機電力などに気をつける・・・日常生活のなかで出来ることを無理せず力まず行う・・・継続して行うことが大切です。持続可能な社会に向けて“持続は力なり”

本市では持続可能な社会の実現に向け、市民への環境保全活動・活動の啓発等を実施しました。

こどもエコクラブの支援や環境教室・かたの環境講座の開催などの啓発・学習事業を展開するとともに、環境基本計画の推進など市民との協働の取り組みを推進しました。また、19年度より運用している環境マネジメントシステム（環境自治体スタンダード：LAS-E）により市役所の事務事業からの環境負荷を低減するよう取り組みました。

1. 環境教育

環境にやさしいくらしを啓発するため、以下の事業を実施しました。

(1) こどもエコクラブの支援

財) 日本環境協会が実施している「こどもエコクラブ事業」に基づき、市内のこどもエコクラブに対して、クラブ間の交流や活動の支援、情報の提供等を行いました。また、「エコロジカルとれーにんぐ」や各クラブが実施する「エコロジカルあくしょん」の報告を受け、その活動内容を確認しアースシールを発行しました。

登録クラブ 3クラブ（平成26年3月時点）

| クラブ名 | クラブ員数 | サポーター数 |
|---------------------|-------|--------|
| ひまわりエコクラブ | 35人 | 2人 |
| たんぼぼエコクラブ | 12人 | 6人 |
| かたの少年少女クリーンパトロール隊 | 16人 | 9人 |
| YOUNG Gardener Club | 15 | 15 |

交野市こどもエコクラブ交流会「夏休み“おがわ”の生き物観察会」

全国水生生物調査を兼ねて、身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を図ることを目的としました。

実施日：平成25年7月31日（火）

場 所：くろんど園地 尺治川

参加者：9名（サポーター含む）

(2) 夏休み環境教室

里山・棚田・ため池などに住むさまざまな生きもののことを調べたり、里山で採取したもので製作をしました。

実施日：平成25年8月6日（火）

場 所：近畿大学農学部キャンパス内

参加者：31名

講師：(株)アクアテイメント、近畿大学農学部、Saku らーにんぐ

(3)かたの環境講座

温暖化を始めとする環境問題への対策には、市民一人一人の足元からの行動が必要ですが、その重要性を認識してもらうことが最も難しい課題でもあります。その課題にひとりでも多くの市民が気づき、行動して頂けるよう啓発し、また、環境保全活動のリーダーとなる人材を育成することを目的として、かたの環境講座を7回開催しました。大阪市立大学理学部附属植物園の協力のもと、フィールド学習もふんだんに盛り込んだ講座を実施しました。

第1回 「セミの大変身」

日時：平成25年7月19日(金) 18:00から

講師：NPO法人やまと自然と虫の会 伊藤 ふくお 氏

受講者数：46名

第2回 「葉っぱのマイ図鑑を作ろう」

日時：平成25年8月24日(土) 13:00から

講師：大阪市立大学 講師 植松 千代美 氏

受講者数：23名

第3回 「スパイダー・ウォッチング」

日時：平成25年9月28日(土) 10:00から

講師：元追手門学院大学 教授 西川 喜朗 氏

受講者数：19名

第4回 「葉の形から古気候を探る」

日時：平成25年11月9日(土) 13:00から

講師：大阪市立大学 教授 大久保 敦 氏

受講者数：16名

第5回 「どんぐりを通して学ぶ樹木のいろいろ」

日時：平成25年11月23日(土) 10:00から

講師：大阪市立大学 准教授 名波 哲 氏

受講者数：30名

第6回 「使ってみよう！伐採木」

日時：平成25年12月21日(土) 10:00から

講師：NPO法人里山倶楽部 大塚 憲昭 氏

受講者数：約100名

第7回 「竹の不思議発見！」

日時：平成26年3月27日(木) 13:00から

講師：NPO法人森林ボランティア竹取物語の会

受講者数：16名



2. 市民との協働の推進

(1)環境フェスタin交野2014の開催

テーマ「さあ 始めよう 私から・・・」として私たちの暮らしの中から様々な環境を考え、地球環境問題、身近なゴミ問題、里地・里山保全など自然環境問題等について、環境フェスタの開催により広く市民に啓蒙・啓発し、また団体間の交流をはかり、地域からの行動を喚起することを目的とし、市民・団体・事業者・行政が一体となり開催しました。

日 時：平成26年3月2日（日）

場 所：星の里いわふね

来場者数：約2,730名

3. 環境基本計画の推進

交野市環境基本計画推進会議（交野みどりネット）と協働で4つの分野ごとに基本計画にあるプロジェクトを推進しました。

(1) 環境基本計画の推進に関する普及啓発

環境フェスタへの参加、ウェブサイトの公開を通じて、交野市環境基本計画および交野市環境基本計画推進会議について、市民への周知を行いました。

(2) 自然環境分野

プロジェクト1「里山を知ろう・里山大好き」を実施し、市民に交野の自然のすばらしさを周知しました。のべ231名の参加がありました。

(3) エコ生活分野

プロジェクト5「めざせ！かたのエコ達人」を実施し、エコ生活の具体的方法を周知し、講座11回、のべ307名の参加を得ました。

(4) エネルギー分野

プロジェクト1「そらいけ！ソーラーパネル」に関する講座を行って16名の参加を得ました。プロジェクト2「星のまち☆エコドライブ」の普及のためのオリジナルステッカーを作成し、講座を行って23名の参加を得、またエコドライブシミュレータの体験会を行い、いずれもステッカーを進呈して普及を図りました。

(5) まちづくり分野

プロジェクト3「自転車のマナー向上大作戦」で警察や地域の自治会と協力して自転車マナー講習会を倉治・交野・郡津の3小学校区で行い、のべ165名の参加を得ました。

4. 環境マネジメントシステムの構築・運用

すべての職員が、環境の視点を持ちながら業務に当たることを目指し、環境自治体会議のシンクタンクである環境政策研究所が、環境自治体と呼ぶにふさわしい自治体の目安として制定したLAS-E(Local Authority's Standard in Environment：環境自治体スタンダード)に沿った環境マネジメントシステムを構築し、19年6月より運用を開始しました。

各職場における省エネ・省資源行動の徹底や、職員への研修(集合、職場研修)の実施、環境情報の市民への公表などLAS-Eの規格に沿った取り組みを進めました。また、LAS-Eの特徴の一つでもある市民による監査が実施され、判定委員会による取組の合否判定を受けました。

(1) 監査及び判定

○独自目標監査

実施日：平成25年6月6日

監査員 5名（市民2名、市職員2名、専門家1名）

○共通実施項目監査

実施日：平成25年11月27日・28日・29日

設問数 812問

対象部局 69部局

個別監査 市長他33名

監査員 37名（市民21名、市職員14名、専門家2名）

○判定

実施日：平成 25 年 12 月 27 日

○LAS-E 実施項目判定（共通実施項目判定）

判定事務手続き・資料作成、判定委員会召集・開催、所見の発行等

結果：第1ステージ・第3ステップ 合格

第2ステージ・第1ステップ 合格

(2)目標達成状況

LAS-E では取組を実施するだけでなく、数値目標を立てることも要求されています。
平成 25 年度の目標並びに結果は次のようになりました。

平成 25 年度 独自目標取組結果一覧（第 1 ステージ）

| 項目 | H25 結果 | 基準年値 | 削減率 | 目標 | 結果 |
|---|----------------|-----------------|--------|---------------|----|
| 電気使用量 (kWh) | 4,401,714 | 5,853,854 (H21) | 24.8% | 22.0%削減 | ○ |
| ガソリン使用量 (ℓ) | 58,507 | 56,331 (H21) | -3.9% | 1.0%削減 | × |
| 軽油使用量 (ℓ) | 68,565 | 71,303 (H21) | 3.8% | 3.5%削減 | ○ |
| 灯油使用量 (ℓ) | 164,410 | 184,689 (H21) | 11.0% | 3.5%削減 | ○ |
| LPG 使用量 (kg) | 18,948 | 31,068 (H21) | 39.0% | 28.0%削減 | ○ |
| 都市ガス使用量 (m ³) | 248,656 | 241,472 (H23) | -3.0% | 1.0%削減 | × |
| 水使用量 (m ³) | 107,087 | 119,442 (H21) | 10.3% | 6.0%削減 | ○ |
| 廃棄物の排出量 (袋) | 37,620 | 40,092 (H24) | 6.2% | 削減 | ○ |
| コピー用紙 (購入量) (枚) | 7,445,745 | 6,642,661 (H24) | -12.1% | 削減 | × |
| CO ₂ 換算温室効果ガス 排出量 (kg-CO ₂) | 2,526,745 | 2,652,611 (H21) | 4.7% | 3.0%削減 | ○ |
| 職員研修の回数 | 2 回開催 | — | — | 年 2 回以上 開催 | ○ |
| 実行責任者研修 の回数 | 8 回開催 | — | — | 年 2 回以上 開催 | ○ |
| 環境に関する 情報の提供 | 年 42 回 以上提供 | — | — | 年 6 回以上 提供 | ○ |

平成 25 年度 独自目標取組結果一覧（第 2 ステージ）

| 項目 | H25 結果 | 目標 | 結果 |
|------------------------------|--------|--------------------|----|
| 公共下水道の推進 | 94.5% | 市内下水道普及率 94.1%以上 | ○ |
| 安心安全な水道を安定に給水する 「水道」 | 7 割 | 自己水割合の増加 | ○ |
| 緑道等の整備と適切な維持管理 | 5 件 | 緑道の維持管理 5 件以上 | ○ |
| 公園等の適切な維持管理 | 26 件 | 都市計画公園の維持管理 26 件以上 | ○ |
| ちびっ子広場の適切な維持管理 | 109 箇所 | ちびっ子広場数 110 箇所以上 | △ |
| 山地対策協議会の活動支援 | 80 名 | イベント参加者数 450 名以上 | × |
| 自然・緑地環境等の維持管理 | 4 件 | 樹木等の保全支援 4 件以上 | ○ |
| ごみの減量化・リサイクル推進に係る市民 活動の支援 | 541.7g | 排出量の削減 (H18 年度比) | ○ |
| | 24.1% | 再生利用率向上 (H18 年度比) | ○ |

| | | | |
|-------------------------------|---------|------------------------------|---|
| 緑とリサイクル事業 (剪定枝・伐採樹木のリサイクル) | 8,000 袋 | 堆肥配布数 前年並 | ○ |
| 農業団体活動の支援 | 6 件 | 農業団体等の数 4 件以上 | ○ |
| 市民参加による農地の保全 | 4 箇所 | 市民農園の幹旋や景観形成作物の栽培支援実施 3 箇所以上 | ○ |
| 地球環境への負荷を定量的・定期的に把握 | 2 回 | 年 2 回以上 | ○ |
| 数値的に設定された独自目標 (モアチャレンジの設定) | 69 課 | 各職場 1 つ以上設定 | ○ |
| 環境保全の啓発 | 290 名 | 環境講座等の参加者数 250 名以上 | ○ |
| ごみの減量化・リサイクルの推進の啓発 | 6 回 | 広報誌等による啓発記事の回数を増やす 前年度より | ○ |
| 農とふれあい機会の提供等 | 2 件 | 農業体験開催数 3 件以上 | △ |

5. 他自治体などとの協力・交流

環境自治体会議

平成 18 年度から加入した環境自治体会議（1992 年設立）は環境自治体会議をめざす自治体が、情報交換や相互交流、研究・実践活動を進める場として創られたネットワーク組織です。

第 21 回環境自治体会議「ひおき会議」に参加しました。

①日 時 平成 25 年 5 月 30 日（木）～6 月 1 日（土）

②場 所 鹿児島県日置市

③内 容 5 月 30 日 基調講演「吹上浜を中心とした生物と環境とのかかわり」

パネルディスカッション

テーマ「人や環境資源を活かし、協働で進める持続可能な地域づくり
～元気な首長大集合～」

5 月 31 日 10 のテーマごとに分科会を実施

6 月 1 日 記念講演「ないものねだりをやめてあるものさがし — 地球を元気にする
地元学のすすめ —」

パネルディスカッション

「地域資源の活かし方・つなぎ方・持続可能な地域づくりの秘訣を語る！」